

は　じ　め　に

昨今の社会において、知識・情報・技術をめぐる変化の早さが加速度的となり、情報化やグローバル化といった社会的変化が、人間の予測を超えて進展する中、様々な情報や出来事を受け止め、主体的に判断しながら、自分を社会の中でどのように位置付け、他者と一緒に生き、課題を解決していくための力の育成が必要となっています。このような社会の中で、次代を担う子どもたちが生涯に渡って新しい価値を創造するとともに、他者と協働して実践していく主体的・能動的な力が求められています。

このような状況を踏まえて、交野市教育センターでは、平成 25 年度から実施している専門研修講座を平成 29 年度は「英語力向上」及び「アドベンチャー・カウンセリング」を実施するとともに、年間を通じて先進的な取り組みをしている小中学校への視察を実施し、研修受講者は各学校において他の教職員を対象に伝達講習を実施するなど、研修内容を広く普及させ、市全体としての指導力の向上に努めてまいりました。

交野市教育委員会では、平成 29 年度から「交野市小中一貫学園構想事業」を開始し、平成 32 年度より全学園(中学校区)で小中一貫教育が実施できるようすすめています。また、学園(中学校区)ごとに「中学校を卒業する時にどのような子どもであって欲しいのか」という「めざす子ども像」を明確にするとともに、義務教育 9 年間を見据えた「新たな科」を創設し、「義務教育の質を変える」取り組みをすすめております。

交野市教育センターでは、小中一貫教育がすすめられる中、教職員の専門的知識・技能と実践的指導力の向上を図るため、専門研修講座をはじめとする多種多様な研修の計画的な実施、校内研修の活性化への支援等を行っています。また、初任者や経験の浅い教職員への支援のためのフレッシューズサポート事業や教員の授業力の向上のための授業充実支援事業等を通して、特色ある教育活動の展開や魅力ある学校づくり、組織的な学校運営の実践等において学校を支援する機能の強化を図っています。

また、平成 29 年度に交野市教育センターが受けた相談件数は、**1,684 件**にのぼりましたが、学校やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等と緊密に連携を図り、課題の解決にあたってきました。今後も、引き続き、児童・生徒、保護者、教職員等からの教育にかかわる様々な相談に対して、専門的な知識と経験を持って対応していきます。とりわけ、いじめや不登校等の課題は依然として深刻な課題であり、その解決は急務であることから、各学校における教育相談体制の一層の拡充、関係機関との連携を支援するとともに、教育センターの相談機関としての役割をより充実させていきます。

このように、教職員の指導力・資質向上や教育相談体制の充実等、教育センターに求められる役割はますます大きくなっています。今後も、その責務を果たすべく、研修等の内容や相談機能をより一層充実させ、皆様方のご協力を得ながら、より信頼される教育センターとして、交野市の教育の発展に寄与できるよう努めてまいります。